

Have
A
Nice
Cycling



BESV Experience
Amazing

取扱説明書：車両操作マニュアル



Brand : **BESV**
Model : **PSF1**
Code : **YTRT10**

| | | |
|---|----------------|----|
| 0 | 目次 | 01 |
| 1 | 各部名称 | 02 |
| 2 | バッテリーの脱着・充電方法 | 03 |
| 3 | 電源の入れ方 | 04 |
| 4 | アシストモードについて | 04 |
| 5 | HMIディスプレイの操作方法 | 05 |
| 6 | 折りたたみ・組み立て方法 | 07 |
| 7 | 仕様書 | 09 |

0-1 本書で正在しているマークについて

この取扱説明書では、間違った取扱いによる事故を防止するために、安全に関する注意事項を以下のマークを使って説明しています。これらの注意事項を必ず読み、完全に内容を理解してからご使用ください。

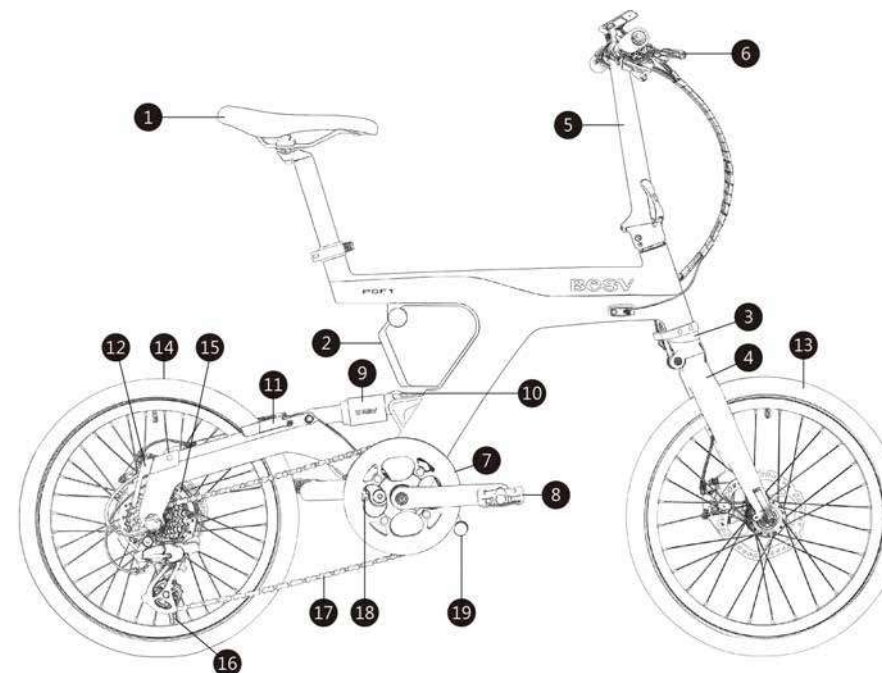
警告 この表示の欄は、取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、取扱いを誤った場合、使用者が「傷害や物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

禁止 この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。

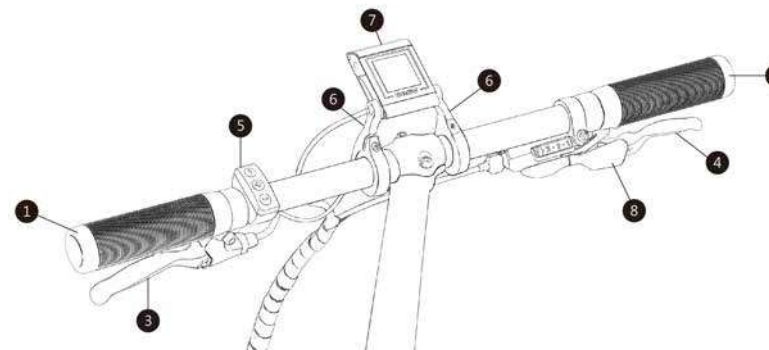
強制 この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

1-1 車体各部名称



- | | | | |
|--------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ① サドル | ⑥ ブレーキシステム | ⑪ 折りたたみスタンド (折りたたみ時・自立用) | ⑬ リアディレイラー |
| ② バッテリー | ⑦ チェーンホイール | ⑫ 前輪用台座フック (折りたたみ時に使用) | ⑭ チェーン |
| ③ 環状ロック | ⑧ ペダル | ⑬ 前輪 | ⑮ プル式ロックピンB (組み立て時に使用) |
| ④ フロントフォーク | ⑨ リアサスペンション | ⑭ 後輪 | ⑯ チェーンテンショナー (折りたたみ時に機能) |
| ⑤ 折りたたみ式システム | ⑩ プル式ロックピンA (折りたたみ時に使用) | ⑮ モーター | |

1-2 ハンドル各部名称

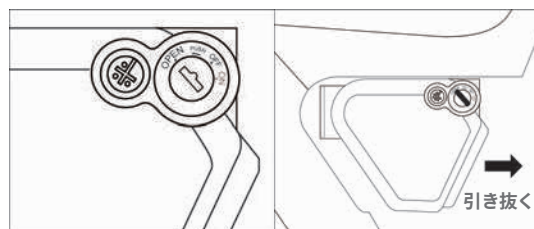


- | |
|-------------|
| ① 左グリップ |
| ② 右グリップ |
| ③ 後ブレーキレバー |
| ④ 前ブレーキレバー |
| ⑤ HMIスイッチ |
| ⑥ HMIホルダー |
| ⑦ HMIディスプレイ |
| ⑧ シフトレバー |

2 バッテリーの脱着・充電方法

2-1 バッテリーの脱着

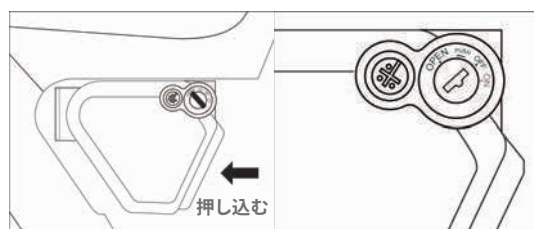
バッテリーの脱着の際は、必ずシートポストをバッテリー脱着の妨げにならない位置まで上げてから行ってください。



バッテリーキーを「OPEN」の位置に合わせる
車両後方側にバッテリー本体を引き抜く

◆ バッテリーの取り外し

バッテリーキーを「OPEN」の位置に合わせて、車両後方側にバッテリー本体を引き抜いてください。
※フレームからバッテリーを取り外す際は、落下に注意してください。



バッテリーキーを「OPEN」の位置に合わせる
車両後方側にバッテリー本体を引き抜く

◆ バッテリーの取り付け

- ① バッテリーをゆっくりと入れ、底部の端子に装着できるようにセットしてください。
- ② バッテリーキーを「OPEN」の位置に合わせ、車両後方側から前方に向けてガイドレールに沿わせて押し込んでください。
- ③ バッテリー装着後、バッテリーキーを「OFF」の位置に合わせてください。

⚠ 注意

バッテリーが正しく接続されていない場合、バッテリーは安全に使用できず、通信エラーが生じる可能性があります。必ず指示に従ってバッテリーを取り付けてください。

2-2 バッテリーの充電方法



バッテリーソケット

差し込む

◆ 充電方法

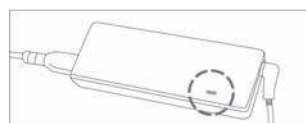
- 充電器のプラグをバッテリーソケットに差し込んでください。
- 充電時間はバッテリーの残り電量と電流によって変わります。
- 許容入力電圧は AC 100 - 240 V ~2A(50/60Hz) です。この適正範囲外での充電は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 通常充電時間は、4.5 時間です。
- 充電はバッテリー単体でも、車体に取り付けたままでも充電が可能です。

⚠ 注意

充電器のプラグとバッテリーソケットには、それぞれ切り欠きがあります。差込角度を合わせてから差し込んでください。

◆ 充電器側 LED

- 充電中 = 赤 LED 点灯
- 充電待機中、充電完了 = 緑 LED 点灯

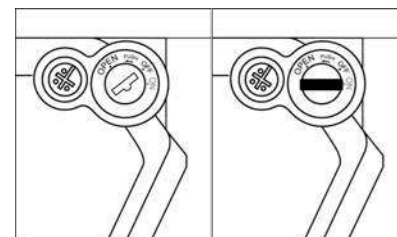


3 電源の入れ方

バッテリーが車両本体に、正しく装着されていることを確認してください。

⚠ 注意

バッテリーが正しく装着されていないと、走行中に正しく電力供給ができなかったり、バッテリーが車体から外れるなど、事故の原因になります。



◆ 電源 ON

バッテリーを車両に正しく装着し、バッテリーキーを赤色の「ON」の位置まで回すと、ディスプレイが点灯します。

◆ 電源 OFF

バッテリーキーを白色の「OFF」の位置まで回すと、ディスプレイが消灯します。(※約3分放置すると、自動で電源は「OFF」になります。)

- ディスプレイが点灯したら、アシストモードを設定し走行してください。
- 電源 ON の際は、周囲の状況を把握し、必ずサドルにまたがってから発進してください。
- ペダルに力が加わると電動補助力が働き、転倒や接触事故の恐れがありますので、「蹴り乗り」はしないでください。
- 電源 ON のまま駐車、停車、自転車の押し歩きをしないでください。ペダルに足や荷物が触れると、電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

4 アシストモードについて



Speed=速度計

本製品には5つのアシストモードがあり、HMI スイッチの [⊕] ボタンを押して順に切り替えます。現在のモードに関係なく、[⊕] ボタンを長押しすることで S モードに切り替わります。

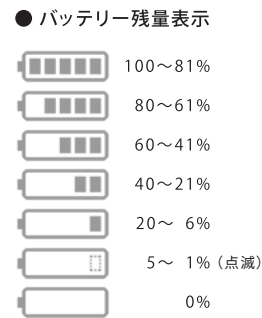
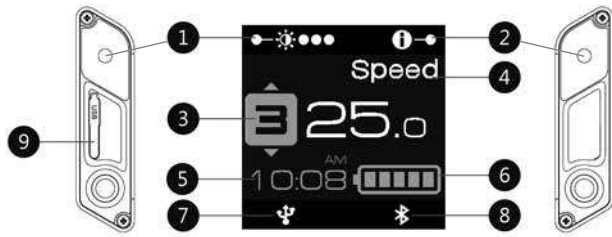
| MODE/名称 | 特徴 |
|-------------|---|
| 0 (OFF モード) | アシスト出力無し、通常の自転車としてご利用頂けます。 |
| 1 (エコモード) | アシスト力を抑え、長距離走行に適しています。 |
| 2 (ノーマルモード) | 本来の乗り味を楽しめます。 |
| 3 (パワーモード) | アクティブな走行が楽しめます。 (※バッテリーの持ちがエコモードの半分以下になります。) |
| S (スマートモード) | ペダル踏力に応じて最適なアシスト力を自動調整します。走行環境にあった快適なライディングができます。 |

※ アシスト走行可能距離は下記の条件によって変わります。

- アシストモード
- 路面状況
- タイヤ空気圧
- 走行状態(変速機の使用)
- 積載重量
- 気温
- 風速 など

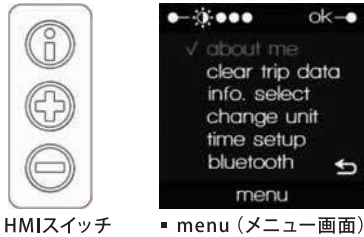
※ HMIとは「Human Machine Interface」の略です。

5-1 HMIディスプレイ表示名称・スイッチボタン名称



- 1 画面の明るさ調整ボタン (3段階切り替え)
- 2 インフォメーションボタン (長押ししてメニュー画面)
- 3 アシストモード
- 4 パラメーター表示
- 5 時計表示
- 6 バッテリー残量
- 7 USB接続表示 (接続時は青色)
- 8 スマートフォン接続表示 (接続時は青色)
- 9 USBポート (type-c)


5-2 メニュー画面について

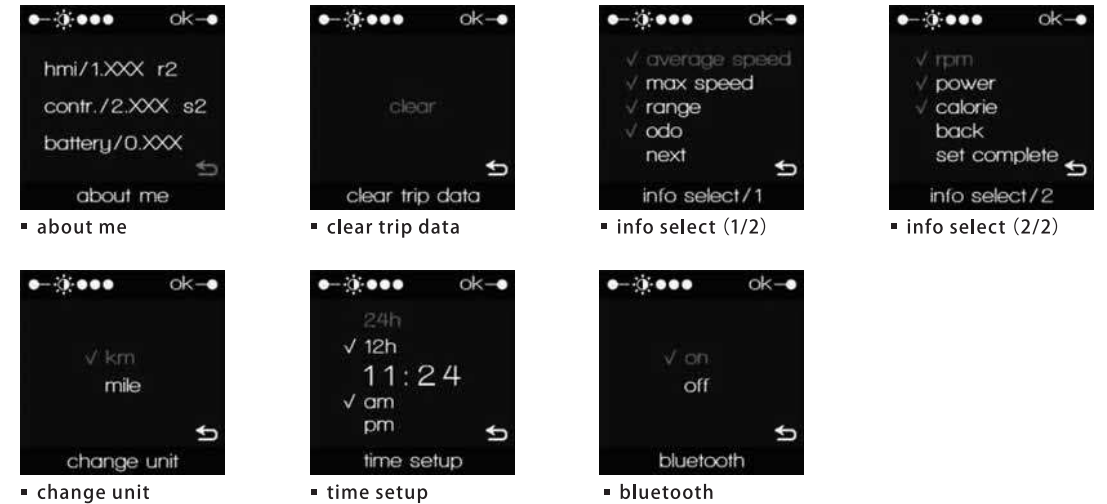


ハンドルのHMIスイッチには、左図のように[+] [0] [-]の3種類のボタンがあります。

HMIディスプレイ右側のインフォメーションボタン、またはHMIスイッチの[+]ボタンを長押しすると、メニュー画面(設定モード)に入ります。

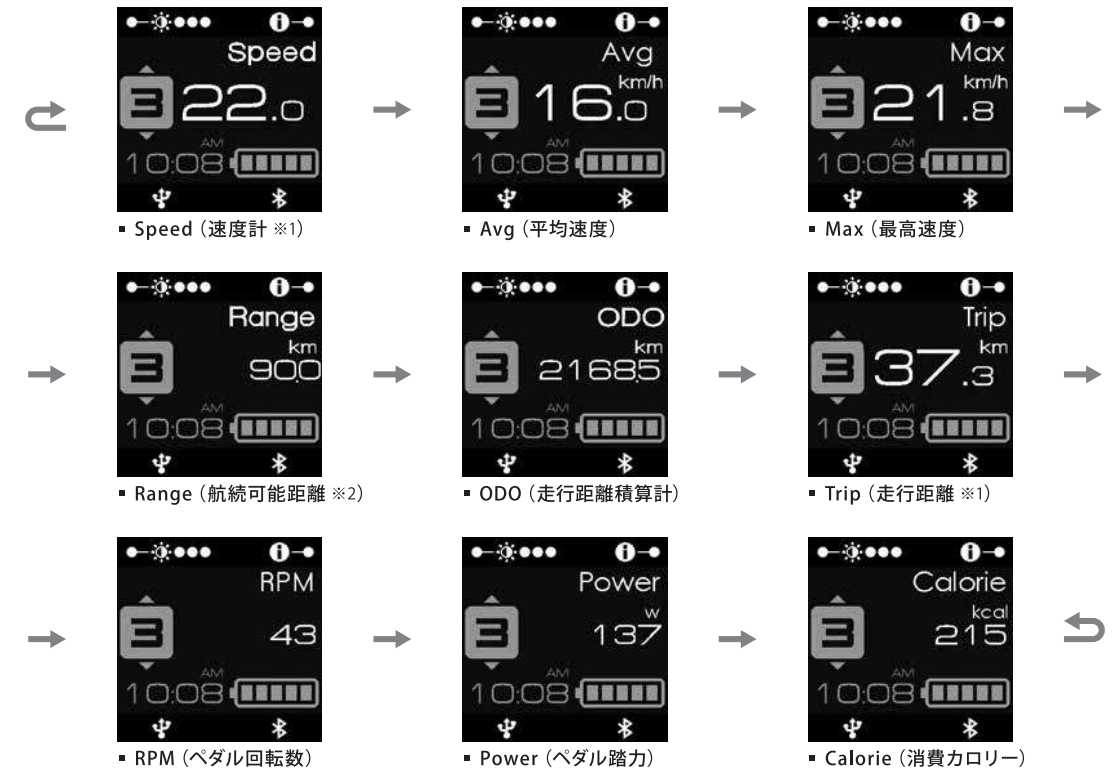
各設定メニューでは[+] (↑) [-] (↓) ボタンを押して項目を選択し、[+]ボタンで決定します。

| メニュー | 内容 |
|-----------------|---|
| about me | HMIディスプレイ、コントローラー、バッテリーそれぞれのバージョン情報表示 |
| clear trip data | ユーザーのTripメーターをリセットします。 Maxスピードと、Avgスピードの記録もリセットされます。 |
| info select | インフォメーションボタンを押すことで表示を切り替える下記のパラメーターについて、表示(✓) or 非表示を任意で設定できます。 (average speed / max speed / range / odo / rpm / power / calorie) |
| change unit | 速度表示を、km表示 または mile表示の選択ができます。 |
| time setup | 時計機能の設定ができます。(24h表示 または 12h表示が選択できます) |
| bluetooth | スマホ連携機能のON/OFFが選択できます。スマホ連携機能の使用の際は、ユーザーのスマートフォンに、あらかじめ専用APPのダウンロードが必要です。マニュアルは、BESV JAPAN のホームページの「SUPPORT」よりダウンロードできます。(https://besv.jp/support/)  |



5-3 パラメーターの切り替え表示

[+] ボタンを押すたびにHMIディスプレイの表示が切り替わり、メニューの「info select」で表示(✓)設定にしたパラメーターを順番に表示できます。非表示設定にしたパラメーターはスキップされ、表示されません。



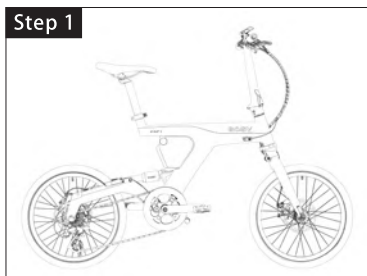
※1：メニューのInfo Select で非表示に設定できないパラメーターです。

※2：Range計の算出方法は、バッテリー消費量当たりの過去の実走行距離の記録に基づいて表示されます。例えば、重いギアで、急な坂道を走行し続けた場合は、バッテリー消費量当たりの実走行距離が短くなります。現在のバッテリー残量にその効率を当てはめて計算する為、Range表示は、短く表示される傾向にあります。この算出には過去すべての走行記録が反映され、直近になるほどその計算影響度が高くなります。坂道走行時でも、最適なギア位置で走行する事で、バッテリー消費効率が良くなり、Range計の表示 km 数は長くなります。

6 折りたたみ・組み立て方法

⚠ 注意 自転車を折りたたんだり組み立てたりする際には、必ず電源が入っていない状態にしてください。

6-1 折りたたみ方法



Step 1
ギアを一番重い位置に合わせます。
(変速機の7速)



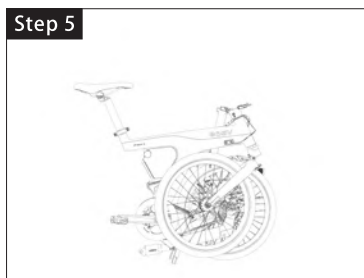
Step 2
左ペダルを一番下にし、折りたたみスタンドを立たせます。



Step 3
プル式ロックピンAを解除し、後ろ部分を引き離します。反転させてメインフレームの下に格納し自立させます。



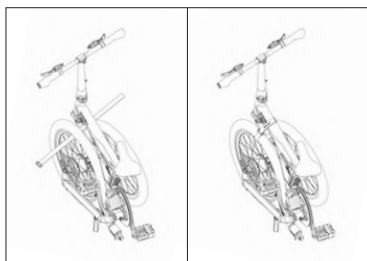
Step 4
フロントフォークの環状ロックとレバーを外して前輪をたたみ、台座フックの上のキャッチに押し込みます。



Step 5
ステム下部分のレバーを外し、ハンドルを折りたたみます。

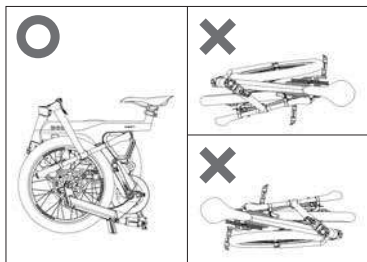


Step 6
サドルを一番下の位置に下ろし、折りたたみ完成です。



◆ 固定ベルトを使用すること

⚠ 注意 運搬、移動の際は、付属の固定ベルトを用いて、折りたたんだ後輪とメインフレームを固定してください。



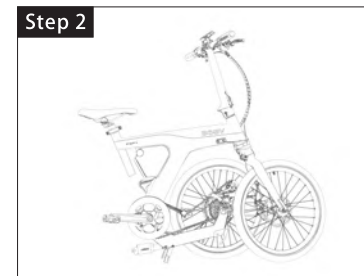
◆ 直立状態で保管すること

⚠ 注意 折りたたみ時は自転車を横にせず、直立な状態で保管してください。

6-2 組み立て方法



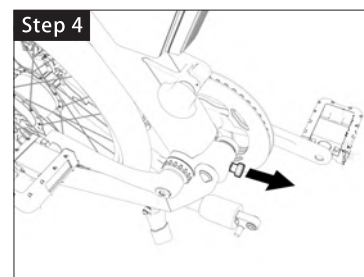
Step 1
ステムを立ち上げ、レバーでしっかりとロックをします。



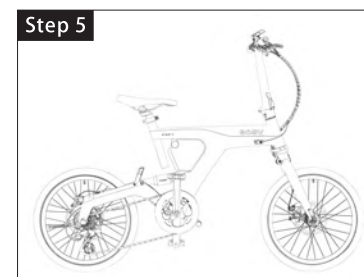
Step 2
前輪をもどし、フロントフォークのヒンジレバーをカチッと音がするまでロックしてください。



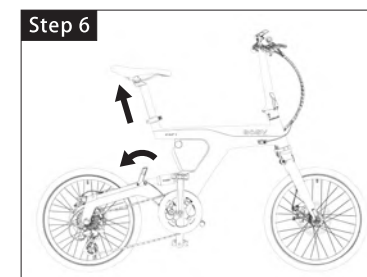
Step 3
さらに環状ロックでヒンジレバーをロックしてください。



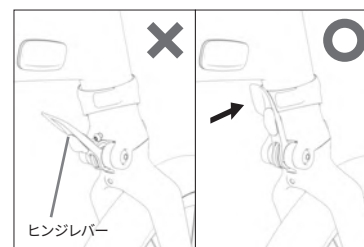
Step 4
プル式ロックピンBを引きながら持ち上げることで、後輪が通常位置に戻ります。ロックピンが固いなど、引けない場合は、後輪のみを少し持ち上げながらロックピンを引いてください。



Step 5
リアサスペンションが、正しいピボット位置に収まり、プル式ロックピンAで固定されていることを確認してください。(下図参照)

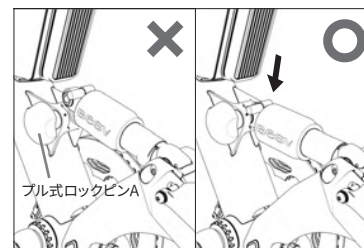


Step 6
サドルを適正な高さに調整し、折りたたみスタンドをたたんでください。



◆ Step 2・3 詳細：フロントフォークの固定

⚠ 注意 環状ロックをスライドさせる前に、ヒンジレバーを強く押し込んで必ずロックしてください。



◆ Step 5 詳細：リアサスペンションの固定

⚠ 注意 リアサスペンションが正しい位置に収まるか確認をしてください。リアサスペンションの角度が変わるなど、正しい位置に収まらない場合は、手でリアサスペンションの角度を修正してください。

◆ BESV PSF1 仕様書 (駆動補助機付き自転車及び普通自転車)

| | | |
|-------------------------|---------|--------------------------|
| ◆ 製品の名称 | | BESV PSF1 |
| ◆ 製品の型式 | | YTRT10 |
| ◆ 大きさ ※ () 内は 折り畳み時 | 全長 | 1540 mm (840 mm) |
| | 全幅 | 565 mm (440 mm) |
| | 高さ | 1120 mm (770 mm) |
| | 車重 | 18.3 Kg |
| ◆ タイヤ (バルブ形式) | | 20×1.5 (米式) |
| ◆ サスペンション | リア | エア式 (適正空気圧:65~150PSI) |
| ◆ 変速機方式 | | 外装 後7速 |
| ◆ 制動装置 | 前輪 | 機械式シングルディスクブレーキ方式 |
| | 後輪 | 機械式シングルディスクブレーキ方式 |
| ◆ 電動機 | 形式 | DC 36V ブラシレスハブモーター |
| | 定格出力 | 250 W (最大定格) |
| ◆ 動力伝達装置の種類 | | チェーン式 |
| ◆ 主要構造 | | 後輪駆動 |
| ◆ 駆動補助装置の種類及び形式 | | 後車軸合力発生型 |
| ◆ 駆動補助制御方式 | | 踏力比例式制御方式 |
| ◆ 車速検出装置の方法 | | リヤハブマグネットパルス検出方式 (後輪回転時) |
| ◆ 補助速度比率 | 比率 (最大) | 1:2 以下 |
| | 低減 (最大) | 1:2 以下 |
| ◆ 補助速度範囲 | 比例補助 | 0 km/h 以上 10 km/h 未満 |
| | 低減補助 | 10 km/h 以上 24 km/h 未満 |
| ◆ バッテリー | 電圧 | 36 V |
| | 容量 | 10.5 Ah |
| | 充電時間 | 4.5 時間 |
| | 重量 | 約 2.12 kg |

◆ 純正オプションパーツ

| 商品名 | 有無 | 備考 |
|-------------|----|----------|
| ◆ フロントキャリア | × | |
| ◆ リアキャリア | ○ | 耐荷重:18kg |
| ◆ フロントバスケット | × | |

BESV Experience Amazing

● 修理や部品のご注文は、まずはお買い上げの販売店へご相談ください。

※ 製品仕様は予告なく変更されることがあり、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

株式会社 BESV JAPAN

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-19-9 SGビル